

## 「地域の中の学校として」

宮崎県教育庁義務教育課

義務教育・学力向上担当 指導主事 小松 宏

本県におきましては、児童生徒数の減少等により、ここ10年で、小学校は32校、中学校は15校が統廃合されております。現在、本県のへき地等学校は、小学校29校、中学校15校、計44校あります。また、複式学級を有する平地校は、平成21年度は31校であったものが、本年度は小中学校で42校と県内の全小中学校の11.6%を占めており、年を追って増加傾向がみられます。

このような状況の中、県教育委員会では、第二次宮崎県教育振興基本計画に掲げた「へき地・小規模校の振興」で、小規模校ならではの「よさ」を生かした教育の推進と教職員の資質の向上にむけて、へき地・小規模校の教育の充実を図っているところです。例えば、本県で作成し、各学校に配布している「複式指導資料」（冊子及びDVD）は、複式学級特有の教育的課題をはじめ、教育課程の編成や指導の特質、具体的な指導方法や指導形態について、より実践的な内容を示しており、日々の授業や研修において積極的な活用が図られております。

また、初めて複式学級の担任になった先生方を対象に、職能研修「複式学級初担任」を実施しております。本研修は、実際の複式の授業を参観するなどの実践的な内容となっており、先生方の不安解消につながるものであると感じているところです。

へき地教育について考えるにあたり、自分自身の経験を思い起こしてみました。私の勤務したへき地校は、赴任して3年目に閉校を迎えました。閉校までの道のりは、紆余曲折で、最初は保護者を含め、地域からの猛反対がありました。これからの子どもたちにとってどのような選択が最良であるかについて何度も検討がなされました。反対の理由は、多岐にわたりますが、特に印象に残っているのは、「学校がなくなるということは地域がなくなることであり、我々の存在価値がなくなるということにつながる。」という地域の方々の言葉です。つまり、学校とは地域にとってかけがえのない存在であるということです。そこに子どもたちや先生方の声があるということが、どれだけ地域にとって大切なことであるか、地域にとって子どもたちは宝であるということ、学校に携わっている我々は、忘れてはいけないと思います。

さて、令和元年10月に「故郷に夢や誇りをもって、未来の造り手となる子どもの育成～へき地・複式・小規模校の特性を生かした学校・学級経営と学習指導の進化・充実をめざして～」という研究主題のもと、第65回九州地区へき地・小規模校教育研究大会福岡大会が行われました。

本大会の分散会では、「学習意欲の向上や個に応じたきめ細やかな指導を重視した指導方法の改善・充実を図る。」というテーマで小林市立幸ヶ丘小学校が、「知識・技能を確実に習得し、自分の考えを明確に伝えることができる児童の育成～児童の実態を生かした授業の工夫と、物事を多面的・多角的に考え、伝えていく話し合いを通して～」の研究発表を行いました。

「4+4のチェックポイント」を生かした授業改善、ICTの活用、交流学习等を軸に発表がなされ、参加された先生方から「大いに参考になった」という声があがりました。チェック項目のひとつである実態把握については、「発表もよくするし、子どもたちはできる」と主観的な判断にとどまることなく、客観的なデータを活用し、分析がなされていました。また、個に応じた「定着・習熟の時間」が確実に確保されており、小規模校ならではの視点を取り入れ、きめ細やかな指導が行われていました。

ICTの活用についても、使うことが目的となるのではなく、少人数であることを補うための工夫がなされていました。SNSでのコミュニケーションが全盛であり、Society 5.0時代を生きていく子どもたちを育成するために、ICTの活用は学校規模等に関わらず必須だと感じています。

また分科会では、生活科・総合的な学習の時間の授業を参観しました。参観した学校は、全学年複式学級で、半数以上の児童が校区外から通学している実態でしたが、少人数ながらもグループによる話し合いが積極的に行われるなど活気あふれる雰囲気でした。授業は、ゲストティーチャーを招き、地域について深く考えさせる内容でした。地域人材の活用が単発ではなく計画的に行われており、常時、教育活動に先生以外の大人が主体的に参画されている様子がうかがえました。このように、地域の方々が当たり前のように学校教育に参画する「地域に開かれた学校」の姿は、これからの学校のあるべき姿であると感じました。

令和3年度には、本県で「第70回全国へき地教育研究大会」が行われます。その開催に向けて、県へき地・小規模校教育研究連盟の校長先生方を中心に準備が進められております。開催にあたって、多くの先生方の御協力が必要になりますのでよろしくお願いいたします。